

(別紙様式)

申請に当たっては、本計画書を  
3部提出してください。

事業計画(全体)

平成21年度 ~ 平成23年度

事業実施年度

平成21年度

ネットワーク形成事業計画書

平成21年7月15日

農林水産省 経営局長 殿

提出する3部すべてに押印  
(コピー不可)

住 所 〒100-8950

東京都千代田区霞が関1-2-1

名称及び代表者名 株式会社 農産

代表取締役 農林 太郎



住所は、本事業を実施する主たる事務所の所在地を記載してください。その所在地が本社でない場合は、( )付きで本社の住所も記載してください。

1 事業実施主体の概要

事業実施主体

- ・電話番号: - -
- ・FAX番号: - -
- ・メールアドレス: jirou@xxx.xx.jp
- ・役職名及び担当者名: 部長 農林 次郎

資本金・出資金

10,000 千円

設立年月日

平成5年4月1日

過去5年間における国庫補助事業の実施内容及び他の補助金への申請状況(予定を含む。)

平成16年

基盤整備事業(補助金 千円を受取)

平成19年

水田・畑作経営所得安定対策(交付金 千円を受取)

平成20年

水田・畑作経営所得安定対策(交付金 千円を受取)

平成21年

水田・畑作経営所得安定対策(加入予定)

機械リース事業(申請予定)

補助金等の内訳やまとめ方は適宜工夫していただき、事業名と受取金額がわかるように記載してください。

<備考>

## (1) 農業経営の内容

事業実施主体 の労働力	・従業員（出資構成員 5 名、常時雇用 15 名） ・パート（ 300 人日）			
経営規模 (平成20年産)	土地利用部門	(経営面積)		備考
	稲作		ha	
	麦・大豆	麦	ha、大豆 ha	
	露地野菜	ニラ	ha、ネギ ha	
	施設部門	(経営面積)		
	施設野菜		トマト a	
	畜産部門	(経営規模)		
	肉用牛		頭	
加工部門	(生産量)			
	トマトジュース	トマト約 t(約	リットル)	
販売額 主位部門	1位部門：肉用牛の販売（ 千円） 2位部門：トマトジュースの販売（ 千円）			
販売方法	消費者への直接販売（トマトジュース）、直売所へ出荷（ニラ、ネギ、トマトジュース）、JA出荷（米、麦、大豆） 現在行っている販売方法と同様の形で本事業を行う場合は、その違いがわかるように記載してください。			
主な施設 (機械・建物)	機械			
	種類	台数		備考
	トラクター	60ps 2 台		
	田植機	6条 1 台		
	刈取機	自脱型4条刈 1 台		
	建物			
	種類	設置数		備考
ビニールハウス	トマト栽培用ハウス(棟) m <sup>2</sup>			
トマトジュース 加工所	1ヶ所	m <sup>2</sup>	日量 リットル生産可能	
多角化への 取組	加工（トマトジュース）、その他（販売用ホームページを作成し、トマトジュースを消費者に直接販売） 現在行っている多角化への取組と同様の形で本事業を行う場合は、その違いがわかるように記載してください。			
<備考>				

## (2) 財務状況

(単位：千円、%)

	第15期	第16期	備考
	平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日	平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日	
売上高 (A)	1,800,000	2,000,000	
経常利益 (B)	60,000	70,000	
総資本 (C)	1,000,000	1,100,000	
自己資本 (D)	千円単位で 記入 300,000	300,000	
流動資産 (E)	600,000	700,000	
流動負債 (F)	500,000	550,000	
総資本経常利益率 (B / C × 100)	6.0	6.4	
売上高経常利益率 (B / A × 100)	3.3	3.5	
自己資本比率 (D / C × 100)	30.0	27.3	
流動比率 (E / F × 100)	120.0	127.3	

注) 本資料は直近2期分(1期しか経営していない場合は1期分)の財務諸表により作成して下さい。また、設立して間もなく記載することができない場合は、直近の収支計画により記載して下さい。

金額は、百円の位を四捨五入して千円単位で記載して下さい。

率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記載して下さい。

農外部門を含めた法人全体の経営状況を記載して下さい。

## 2 事業の概要

<p>テーマ</p>	<p>取組内容のテーマを簡潔に記載してください。</p>
<p>目的</p>	<p>取組発案に至った経緯や事業の目的について記載してください。枠内に収まらない場合は枠を広げて記載してください（以下、全ての項目で同様）。</p>
<p>具体的な取組内容</p>	<p>(1) 取組内容</p> <p>取組内容について、できるだけ詳しく記載してください。</p> <p>例) 本事業では、弊社で生産した農産物を(株) 〇〇商事と連携して外食産業の(株) 〇〇フーズに安定供給することを計画しており、周辺の農業者と契約を結び、弊社の生産技術を普及することで、安定供給体制を確立したいと考えている。</p> <p>また、地域農業の活性化を事業の柱としており、周辺の農業者と連携した事業展開を図っていきたいと考えている。弊社は大規模生産を得意としているが、少量多品目の農産物生産は不得意である。そこで、周辺の農業者が少量多品目の農産物を新たに生産し、その農産物を弊社で集荷後、(株) 〇〇商事の販路を活用して出荷することを計画しており、この取組を通じて、高齢化の進んだ地域農業を活性化するとともに、弊社の新たな雇用創出につなげたいと考えている。</p> <p>(2) 概要図(フロー図)</p> <p>連携先との関わり方、農産物の流通形態等、取組の概要を図示してください。枠内に入りきらない場合は、別紙として添付してください。</p> <p>例) 上記取組内容の概要図</p>

3 事業実施主体とネットワークを形成しようとする者（関連事業者）

関連事業者
<p>(1)名称（法人又は任意組織の場合）又は氏名（個人の場合）、(2)代表者名（法人又は任意組織の場合）            (3)住所、(4)資本金（法人の場合）、(5)従業員数、(6)業種、(7)農業法人との役割分担</p> <p>(1) 株式会社 商事            (2) 代表取締役 商事 太郎            (3) 〒XXX-XXXX 東京都 区 1-1-1            (4) 資本金 億円            (5) 従業員数 人            (6) 流通業            (7) 農産物の流通を担当</p>
<p>(1) 有限会社 農園            (2) 代表取締役 農園 太郎            (3) 〒XXX-XXXX 県 市 町1-1-1            (4) 資本金 百万円            (5) 従業員数 人            (6) 農業            (7) 農業生産を担当</p>
<p>(1) 農事組合法人 組合            (2) 代表取締役 組合 太郎            (3) 〒XXX-XXXX 県 市 町1-2-3            (4) 資本金 万円            (5) 従業員数 人            (6) 農業            (7) 農業生産を担当</p>
<p>(1) 生産 太郎（個人）            (3) 〒XXX-XXXX 県 市 町3-2-1            (5) 従業員数 人            (6) 農業            (7) 農業生産を担当</p>

注）関連事業者が複数の場合は、適宜欄を追加して記載して下さい。

#### 4 事業効果

新規性	既存の取組との違いや独自性について記載してください。
発展性	農業経営がどのように改善されるのかといった法人自身の発展性に加えて、事業全体の発展性について記載してください。
波及性	地域農業や他の農業者にどのような効果を与えるのかを記載してください。
その他 特記すべき事項	事業効果についてその他特記すべき事項があれば記載してください。

5 事業の成果目標

成果目標について、数値を用いて具体的に記載してください。

例) 平成 年を目標に 円の売上を確保する。  
 平成 年に 人の新たな雇用を創出する。  
 平成 年からの本格実施に向け、 のノウハウを有する従業員を 人育成する。  
 平成 年を目標に経営体質の健全化を図る( を %向上、又は を %縮減)  
 平成 年に店舗数を 軒まで拡大する。

注) 事業実施後の目標について、数値を用いて具体的に記載して下さい。

6 当該年度の事業実施スケジュール

時 期	内 容
<p>必須 (平成21年度)</p> <p style="text-align: right;">9月</p> <p style="text-align: right;">10月</p> <p style="text-align: right;">12月</p> <p style="text-align: right;">1月</p> <p style="text-align: right;">3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規導入作物の試験栽培の開始</li> <li>・先進地視察</li> <li>・マーケティング調査、消費地視察</li> <li>・試験販売</li> <li>・事業成果の年度とりまとめ</li> </ul>
<p>任意 (平成22年度)</p> <p style="text-align: right;">4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の本格実施((株) フーズと取引開始)</li> </ul>
<p>(平成23年度)</p> <p style="text-align: right;">4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の発展((株) フーズとの取引を全店舗に拡大)</li> </ul>

8月以降の事業実施スケジュールを作成  
 事業の開始が9月にずれ込む場合は9月以降  
 のスケジュールを記載

注) 時期及び補助対象経費を活用して取り組む内容について、時系列順に記載して下さい。なお、時期及び取り組む内容が複数年にわたる場合は、当該年度以外の取組は補助対象経費の対象外ですが、その取組内容について、適宜欄を追加して参考に記載することができます。

7 事業費内訳調査書

(単位：千円)

事業内容 (区分)	費目 (区分)	事業費	補助金 申請額	積算基礎	備考
企画委員会の 開催	消耗品費	100	50	文房具代等	
	印刷製本費	500	250	資料印刷費1,000円×500部=500千円	
	通信運搬費	100	50	郵便料、電話料等	
	会議費	100	50	会議用のお茶代	
	賃金	800	400	アルバイト賃金8,000円/日×100人日=800千円	
	旅費	1,000	500	交通費20,000円/日×10人×5回=1,000千円	
調査	雑役務費	4,000	1,900	マーケティング調査費	会社へ依頼
試験栽培	雑役務費	80	40	土壌診断費用	
	借料及び損料	21	10	農地賃借料7,000円/10a×30a=21,000円	
	借料及び損料	5,000	2,500	機械のリース(機械名 )	機械は連携先の 農業者が使用
	謝金	100	50	指導員謝金10,000円/日×10人日=100千円	
	その他の経費	900	450	試験栽培用の種苗代、肥料代等	
商品開発	借料及び損料	3,000	1,500	機械のリース(機械名 )	
	謝金	1,000	500	専門家謝金10,000円/日×100人日=1,000千円	
加工実習	借料及び損料	2,000	1,000	機械のリース(機械名 )	
	謝金	100	50	専門家謝金10,000円/日×10人日=100千円	
	その他の経費	100	50	加工実習用の原材料代	補助金申請額が1千万円を 超える場合は、合計が1千 万円となるよう申請額の内 訳を調整
販売促進活動	借料及び損料	200	100	会場借料100,000円/日×2回=200千円	
	謝金	100	50	講師謝金 10,000円/日×2人×5回=100千円	
研修会	謝金	1,000	500	生産管理工程習得研修の講師謝金	会社へ依頼
	合計	20,201	10,000		

注) 「事業内容(区分)」欄には、本事業で行う活動内容ごとに項目を立てて記載して下さい。

「費目(区分)」欄には、第2の表「補助対象経費の内容」の「区分」欄の項目ごとに記載して下さい。**事業費は百円単位を四捨五入** **補助金申請額は百円単位を切捨て**

「事業費」欄には、事業に要する経費を、「補助金申請額」欄には、補助率の範囲内の補助金申請額を記載して下さい。

「積算基礎」欄には「費目」ごとに、第2の表「補助対象経費の内容」の「内容」欄の項目を参考に積算基礎を記載して下さい。

必要に応じて単価の設定根拠となる資料を添付して下さい。

事業の一部を第三者に委託する場合は、何を行うのが分かるように具体的な委託内容を備考欄に記載して下さい。